

<リチウムイオン電池の外部短絡試験と落下試験>

■ 外部短絡試験

外部短絡試験は誤使用により正極端子と負極端子が短絡したときに安全性を評価する試験です。試験条件の外部抵抗値、試験温度は試験規格によって条件が異なります。当社ではご要望の条件に合わせて試験を実施します。試験は小型電池（セル）から大型電池（モジュール）まで対応が可能です。試験実施にあたって、条件詳細についてはお打合せの上、決定します。

外部抵抗例：1~20mΩ, 30mΩ, 50mΩ, 80mΩ, 100mΩなど

試験温度例：室温、55℃ など



■ 落下試験

落下試験は規定の高さから電池を落下させたときの安全性を評価する試験です。落下高さ、電池の落下面、床面材質は試験規格によって条件が異なります。試験は小型電池（セル）から大型電池（モジュール/パック）まで対応が可能です。

大型電池は内径6m×高さ7mの円筒形大型鋼鉄製チャンバ（ドームチャンバ）内に設置したチェーンブロックや落錘装置で実施し、高さ約5mの落下試験にも対応可能です。試験実施にあたって、条件詳細についてはお打合せの上、決定します。

